

一般質問

9月2日、3日の本会議で、20人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

憲法を尊重し市民とともに平和施策を推進せよ

にし色のつばさ 嶋崎 英治 議員



議員 憲法第9条があるが故に平和的に生存でき、イラクに派遣された自衛隊も実弾を一発も撃たずに帰国できた。憲法第9条についての所見を聞く。

市長 再び戦争の惨禍を起さないと憲法前文の理念を踏まえ、平和主義を明確に示したものだ。

議員 市が市民と一緒に平和事業を展開していることに誇りを持っている。三鷹市における平和施策の推進に関する条例について所見を聞く。

企画部調整担当部長 今後条例の趣旨に沿って、平和の推進・実現に努めたい。

議員 三多摩ピースサイクルとの意見交換が実施され

天下りを廃止し指定管理施設を完全公募とせよ

にし色のつばさ 半田 伸明 議員



議員 平成15年の指定管理者制度の導入により、民間も公の施設の管理運営を行っていることになった。この制度は総務省通知によると、経費の節減を図ることが目的の一つとしてある。公と民で経費節減の競争ができる

環境になったのに、三鷹市は競争がない非公募のケースが大半である。非公募のケースでは、今後どのように経費の節減が見込まれるのか。

ど、経費節減を図る取り組みを今後も継続する。

議員 非公募による指定管理先で、経費節減が進んでいない事例がある。指定管理先を変えようという選択肢はないのか。

第二副市長 可能だが、現実としては難しい。

議員 非公募による指定管理先で実質的な代表者が、副市長であったり、市のOBの天下りというケースが

ある。指定をする者、される者がともに市の関係者ということになるならば、競争性を確保できないのは無理もない。この現象は法の趣旨に反するのではないのか。

完全公募とし、経費節減に真剣に取り組みべきだ。

第二副市長 私たちは天下りとは考えていない。OBが培ってきたノウハウを発揮させることで、競争性を超えた有益な効果がある。

子どもを健やかに育て保育・保健施策の充実を

にし色のつばさ 野村 羊子 議員



議員 保育サービスが多様化する中、保護者が子どもに合った保育を選択できるよう、個別の情報提供と相談体制の充実が望まれる。

子ども政策部調整担当部長 子ども家庭支援センターや保育園など、地域の子育て支援拠点の体制の充実等に努めていきたい。

議員 私立幼稚園の延長預かり保育について、就学前の子どもの成長を支援する観点から、市として内容を把握する必要がある。

子ども政策部長 日頃より園長会での情報交換や現況調査等で状況把握に努め、助言等も行っている。

議員 少子化時代の中で10年、20年後、公は保育をど

フィルムコミッションで三鷹の魅力の一層のPRを

自由民主クラブ 渥美 典尚 議員



議員 本年10月、三鷹にフィルムコミッションが設置される。地域の魅力を内外に知らしめ、まちの活性化

につなげる取り組みと考える。三鷹市が同事業を推進する理由と目的を伺う。

市長 映画やドラマなどで撮影された映像の力を生かして、NPO法人みたか都市観光協会との協働で同協会に設置することを決めた。

議員 これまでも、井の頭公園など市内の撮影現場では、市民が撮影に協力している。市民エキストラ登録

制度について所見を伺う。

市長 長期的な視点で慎重に計画を立て、保育の質を確保するため公立保育園をゼロにはしないと考える。

議員 市内で子宮頸がんワクチンの副反応被害はあるか。今後の対応等を伺う。

市長 現時点では報告はない。毎月、医師会と市内の接種状況報告及び緊密な情報交換の機会を持ち、今後の対応等も確認している。

議員 子宮頸がんは早期発見で予防ができる。検診受診率向上のための今後の取り組みを伺う。

健康福祉部長 厚生労働省の無料クーポン券事業は終了するが、個別勧奨通知の継続等、方策を検討する。

生活環境部調整担当部長 今後、エキストラはもとより、撮影時の立ち会いや案内運営支援等、運営面でも幅広く市民ボランティアを募集する予定である。

議員 民間の場所で撮影を行う場合、撮影側と協力側のパイプ役として留意すべき点について所見を伺う。

生活環境部調整担当部長 窓口の一本化が最も重要だ。また、ロケ地マップの作成などロケ撮影の二次利用を推進し、撮影協力者に還元するとともにまちのにぎわい創出につなげたい。

議員 窓口となるみたか都市観光協会の人員増と市の支援体制について伺う。

市長 同協会に臨時職員を1名増員した。公共施設での撮影等は関係各課で積極的に協力するほか、様々な場面で市民ボランティアの協力をお願いしたい。



みたか観光案内所 (みたか都市観光協会)

郷土愛を育む文化施設の充実と交通利便性の向上を

自由民主クラブ 伊東 光則 議員



議員 市民が文化施設等に行き、本市の歴史や文化などをすることは、郷土愛を育む点において非常に重要だと考える。太宰治文学サロンなどの文化施設等に再訪してもらうには、展示内容や周知方法の工夫などソフト面の充実が必要だ。

市長 三鷹らしい企画・制作のために創意工夫をしている。ソフト面の充実が伴ってこそ、施設整備が生きると認識している。

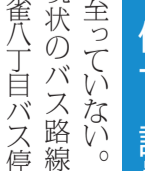
議員 市内には、農業体験や演劇・音楽鑑賞等ができる

活動が必要ではないか。

都市整備部長 自転車安全教室等を実施し、啓発に努めている。事故を抑制するため、今まで以上に対策を進める必要がある。

杏林大学新キャンパス開設で連携や環境整備等の拡充を

自由民主クラブ 土屋 健一 議員



議員 平成28年4月に杏林大学八王子キャンパスが三鷹市に移転することになった。大学側が行政に期待することとは何か。

市長 大学と市民、地域と学生の交流活動の促進等により、様々な連携事業が可能として存在し、杏林大学としてもそれを大いに期待しているものと考えている。

議員 教育委員会が杏林大学新キャンパスに期待することについて所見を伺う。

教育長 知的資源の活用による生涯学習の場の拡大や小中学校との交流の促進等多様な連携を期待する。

議員 アパートや寮の空き室解消を期待する。今後の住居対策等について伺う。

防災上重要な公共建築物と非構造部材の耐震化を進めよ

自由民主クラブ 加藤 浩司 議員



議員 防災上重要な公共建築物の耐震化率100%の取り組みについて、特に学校施設は子どもたちの活動の場であるとともに、地域住民の避難所としての役割を果たすため、安全性の確保は極めて重要な。所見を伺う。

市長 現在、耐震補強を必要とする公共建築物は18棟あり、平成28年度までに耐震化率を100%とすることを目標として計画的に耐震化の取り組みを進めている。

議員 耐震化率100%の取り組みを更に加速して、完了